



## 略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。40歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部青年局次長、学生局次長、金沢支部支部長。

## 市民相談会を開催



▲ 鳥浜駅前のお宅にて

9月20日(日)の午前中は金沢八景駅、午後からは鳥浜駅近くのお宅をお借りして、市民相談会を開催させて頂きました。通算3、4回目の開催はシルバーウィークの真っ最中でしたが、多くの方が足を運んで下さいました。身近な生活現場からの貴重なご意見、ご要望をお寄せ下さり、私自身の勉強にもなりました。心より感謝申し上げます。皆さまの暮らしやすい街へ、更に全力で取り組んで参ります。



▲ 金沢八景駅前のお宅にて

## 各地域で区民の皆さまと交流



▲「金沢文庫芸術祭」実行委員長・スタッフの皆さまと

東朝比奈のコミュニティサロン「ほっこり」では、仕事を定年退職した壮年の皆さまが集う「宵の口カフェ」を開催。「飲みながら自由に語り合えよう」というコンセプトで、会を重ねる

ごとに参加者も増えており、地域での人のつながり作りに貢献しております。1日に金沢漁港で行われた「汐祭り」には、佐々木さやか参院議員も出席し、皆さまと一緒に海の豊漁と安全を祈念。

また、ライオンズクラブの皆さまと、海の公園の清掃も行い、各地の敬老の集い、運動会、金沢文庫芸術祭のオープニングへも出席しました。行く先々で激励の声、叱咤の声。全てを力に今日も走ります。



▲ 金沢漁港「汐祭り」にて、佐々木議員、漁業者の方と

## 第三回横浜市会定例会開会中 《9月8日～10月21日》

9月11日に行われた本会議において、公明党横浜市議団を代表して安西ひでとし議員(港南区)が質問に立ち、①子育てと親の介護が同時に進む「ダブルケア」の問題、②市立中学校の昼食の問題、③ゴミ屋敷対策などについて、市長や当局の見解を求めました。①については、支援策を探る研究会を立ち上げること、②は来年度中の全市立中学校での実施を目指している「横浜型配達弁当」(仮称)の準備が順調に進んでいること、③は条例化も含めて新たな対応方法を検討していくなどと、前向きな答弁を頂きました。特にゴミ屋敷対策については公明市議団として、京都や大阪への視察を行い、市長に要望書を提出するなど、積極的に推進しております。まずは一歩前進です。政策の更なる具体化へ、引き続き努めて参ります。



▲ 9月4日公明党横浜市議団として市長宛の要望書を提出

## 『はまかせ』金沢版に連載開始!

月刊情報紙「はまかせ」(金沢版)8月号より連載を開始させて頂いています。今後も、横浜市議員としての活動や、市政についてご報告して参ります。



# 皆さまの声を「カタチ」に

## ～ 六浦南地域 ～

六浦南の地域で見通しが悪く、自転車と自動車がつつかりそうになると近所の方からご指摘頂いていた交差点。カーブミラー設置のご要望でしたが、様々な制約から難しく、Y字の塗装を行いました。特に自動車への注意喚起を促す目的です。「ここは交差点です」と



## 輝く<sup>ま</sup>金沢<sup>ち</sup>へ

### 動きます! 働きます!



「たけのうち猛」は、「暮らしやすい街」「人が集いあう街」「安心・安全な街」の3つの基本政策を掲げ、金沢の皆さまが輝く街にするため、動き、働いていく決意です。

### 暮らしやすい街へ

金沢区は、都心から近く、自然豊かな環境です。地域的な条件を活かし、地域密着型の雇用支援体制を充実させ、若者から女性や経験豊富なシニアの方まで、元気に働ける街にします。

寄り添う医療から総合医療までを更に機能的に。待機児童0を目指す取り組みなど、子育てしやすい環境の整備。地域包括(介護)ケアシステムを構築します。

豊かな自然を大切に、身近で充実した都市機能を融合させ、暮らしやすい街をつくります。



### 人が集いあう街へ

金沢区は、古より景観豊かな歴史を誇ります。金沢文庫をはじめ、海の公園、金沢動物園、八景島など、観光やショッピングを楽しむことができる街です。

この豊かな金沢力を、より魅力的に、より機能的にしながら、観光資源という金沢力を広く発信し、人々が集いあって、そして持続的な経済発展をはかり、元気なあかるい魅力的な街をつくります。



### 安心・安全の街へ

駅や公共施設などのバリアフリー化の推進をはじめ、公共交通機関の充実など、子供から高齢者まで、あらゆる世代の皆さまが安心して暮らせる街をつくります。

多様化する都市型災害に備える防災・減災機能を充実させ、地域コミュニティの活性化、「自助」・「共助」の意識啓発を推進し、安心して、安全に暮らせる街をつくります。



皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX:045-345-4345

たけのうち猛  
オフィシャルサイト  
takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は  
こちらから!



空メールを  
送信してください